

花乃井だより

学校
通信

令和3年6月1日(火)
第70号
大阪市立花乃井中学校

6月(水無月)のスタート!!

6月のスタートです。近畿地方は梅雨の真っ只中ですが、ここ数日は良く晴れてまるで真夏のような暑さを感じます。ところで、梅雨時期の6月なのになぜか「水無月(水の無い月)」。また、「水張月(みずはりづき)」「水月(みなづき)」という別名もあります。どうしたことなのかについては皆さん調べてみてください。諸説あると思いますが、いずれにしても田植えの時期でもあるこの時期の雨は、稻が実を結ぶためになくてはならない存在です。昔からの和の名称には、それぞれにその時々の民衆の思いが込められています。「水無月」にも、豊作を願う人々の思いがこの呼び名に込められているはずです。そんな思いを感じ取ることができる人に成長してほしいと思います。



《オンラインで学年集会》

教育実習がスタート

緊急事態宣言が発令中ですが、本校の卒業生が教育実習に来てくれました。保健体育科が2名と

美術科が1名の計3名。将来教員を目指して頑張っているメンバーです。今朝、全校が集まっての集会が(緊急事態宣言中で)できないので、オンライン(Teams)で各教室の皆さんに挨拶をしました。期間は18日(金)まで。残念ながら17日(木)に予定されていた体育大会は延期となってしまいましたが、その分、授業はもちろんのこと、学級活動や部活動等に積極的に参加し、皆さんとの繋がりを深めながら実習してもらえばと思います。皆さんも機会があれば積極的に声をかけていってください。よろしくお願ひしますね。

全校集会に代えて

いろいろと制限された生活が続いているが、家にいる時間が増えた昨今。自分なりにやること(やらなければならないこと)を考え、来るべき時に備えて努力していくことが大切です。

「“天才”とは“努力”的異名である。」という名言がありますが、この名言からは発明王エジソンが思い浮かびます。彼は「天才とは99%の努力と1%のひらめきである。」と言いました。この名言の真意は「努力すれば何でも成功する」ということではありません。彼が強調したかったのは、むしろ「1%のひらめき」の大切さでした。しかし「1%のひらめき」はどうすれば湧いてくるのでしょうか。そこで必要なのが“努力”とエジソンは言

っています。白熱電球の発明で1万回の失敗が続いた時、彼は友人に「1回も失敗なんかしてないよ。うまくいかない方法を1万も見つけたんだ」(ヘンリー・幸田『天才エジソンの秘密』講談社)と語ったそうです。度重なる失敗にもめげることなく、前向きに努力し続けること。その先に大きな成功が待っていることは間違ひありません。もう少しの辛抱と将来の大成功を思い描きながら、このコロナ禍を乗り切っていきましょう。

学年で“教科書に紹介されている本”を紹介

各フロアに“教科書に紹介されている本”が紹介されています。「君たちはどう生きるか」「モモ」「銀河鉄道の夜」等々、さすがに教科書に出てくるだけあって、名作で有名な本ぞろいです。ぜひとも図書室で借りる等して読んでみてください。



《1年生》



《2年生》



《3年生》

菜園の野菜たち・花乃井中の花たち



菜園の野菜の苗がどんどん成長しています。やはり最近の雨が恵みとなっているようで、収穫の日がさらに楽しみになっています。

また、敷地内に植えられている花々もきれいに咲いてい

ます。これから工事の関係で花を植えられるスペースがだんだん減っていきますが、少しの姿でも私たちの心を和ませてくれますね。

学校元気UP放課後学習会

6月の元気 UP 勉強会は、次の通りです。



○ 6月2日(水) 3日(木) 9日(水) 10日(木) 16日(水)

17日(木) 21日(月) 30日(水)

○ 15:30 ~ 17:00まで

○ 図書室もしくはその他の教室（学習する教材は各自持参のこと。）